

# 吾輩は猫である

作曲:かぜ。作詞:夏目漱石

♩ = 92  
N.C. Ab Eb Fm Cm

わが は いわねこである な まえ わまだない どこ

<sup>3</sup> Db Ab Bbm Eb Ab Eb

で うまれたか とんと けんとおがつかぬ なん で もうすぐらいじめ

<sup>6</sup> Fm Cm Db Ab

じめしたところ で にやあ にや あないていたことだ

8

B $\flat$ m Eb D $\flat$  C $^7$

けわ きおくして いるわがはい わ ここではじめ てにんげんと

10

Fm $^7$  Fm $^7$  D $\flat$  Eb $^7$  A $\flat$  Ebm $^7$

ゆうも のおみたしかもあ と できく と それわしよ

13

D $\flat$  C $^7$  Fm $^7$  Fm $^7$  D $\flat$  Eb $^7$

せ えとい う にんげん ちゅうでいちばん どおあくなしゅ

16

Ab Ab Ab F<sup>7</sup>

ぞくであたそおだこのしよ せえとゆうのわと

18

Bbm G<sup>7</sup> Cm Ab<sup>7</sup>

きどきわれわれおつかま えてにてくうとゆ

20

Db C<sup>7</sup> Db Eb<sup>7</sup>

うはなしであるしかし そのとおじわなんとゆうかんが

22

Ab Bbm<sup>7</sup> Ab Eb<sup>7</sup>

えもなかたからべつだんおそろしいとも

24

Ab Ab Fm C<sup>7</sup>

おもわな かつ た

ただか れのてのひらにの

26

Fm<sup>7</sup> Fm Db Bbm<sup>7</sup> Eb<sup>7</sup> Ab

せ られ て

すうともちあげられ た とき

29

Fm C<sup>7</sup> Fm<sup>7</sup> Fm Db Bbm<sup>7</sup>

なんだ かふわふわしたか ん じが

あ たばかり

32

$E_b^7$   $A_b$   $A_b$   $E_b$

である てのひらのうえですこしおちつい

12 12 12

34

$Fm$   $Cm$   $D_b$   $A_b$

てしよせえのかおおみたのがいわゆるにんげんとゆうもの

36

$D_b$   $E_b$   $A_b$   $E_b$   $Fm$   $A_b$

のみはじめであるおこのときみよおなものだとおもたかんじがいま

39

Db Bbm Eb Ab Ab Cm<sup>7</sup>

でもものこ ている ああああ あ ああああ

42

Fm<sup>7</sup> Fm<sup>7</sup> Db Gm<sup>7</sup> Bbm<sup>7</sup> Eb<sup>7</sup>

あああ あああ ああ あ ああ あ あああ あ あ あああ あ

45

Ab Cm<sup>7</sup> Fm<sup>7</sup> Fm<sup>7</sup> Db Bbm<sup>7</sup>

あ ああ あ あああ あ あ あああ ああああ あ ああああ

48

$E\flat^7$   $A\flat$   $D\flat$   $B\flat m^7$   $E\flat^7$   $A\flat$

$\text{♩} = 80$

rit.

あああ あああ あ